

びらの12か月

例年と違う1年を過ごすこととなってしまいました。
うにと願い、安平町で感じることの四季の移ろいをお伝えします。



名だたる名馬を輩出 日本有数の競走馬の産地

町内、至るところに牧場があり、車を少し走らせるだけで、馬産地を体感できる。

YouTubeでは、安平町生まれの名馬アーモンドアイ帰還の様子をお届け中！1万回再生突破！！



優しい灯りと美しい音色 追分公民館ロビーコンサート

優しいアイスク্যান্ডルの灯りの中、歌や演奏を楽しむことができる、憩いのイベント。町内外から多くの人が集う、心温まる空間です。



撮影：木下知佳さん

冷え込んだ朝に広がる景色 透き通った青空と霧水

厳しい冷え込みや湿度、風量といった条件が揃った時に見られる霧氷。町内いろいろな場所で見ることができる。街中の何気ないところにある綺麗な景色です。

3月 / 弥生

2月 / 如月

1月 / 睦月

10月 / 神無月

11月 / 霜月

12月 / 師走



撮影：磯部正宏さん

ふらっと舞い降りてきた天然記念物 タンチョウ(アイヌ語:サロルンカムイ)

葦原の神とも呼ばれるタンチョウは「道東で観れる生き物」という印象を持つ人も多いのでは？近年、町内の田んぼで稲穂や水生生物を啄ばむ姿が観察されています。



実りの秋を肌で感じる 農業のまち

今は、収穫した稲の脱穀は機械で行う。しかし、町内の小学生は郷土を学ぶ授業の一環で、田植えや収穫、脱穀を昔ながらの方法で体験する。写真は千歯扱きを使い脱穀するところ。



この足跡はユキウサギ

雪原かける生き物の足跡 アニマルトラッキング

雪が降った日の翌日などに、町内の公園などを散策すると、至るところで生き物が走り回った跡を見つけることができる。いったいどんな生き物がいるのだろうか。